

■ 地域連携ニュース ■

平成 30 年 3 月 8 日(木)、大阪介護老人保健施設協会「豊能ブロック」主催の第 32 回市民公開講座が開催されました。今年は異病院介護老人保健施設が豊能ブロック長として企画の主担当となり、他施設と協同して準備をしてきました。テーマは「住み慣れた地域で安心して過ごせるために」。当法人の理学療法士によるフレイル予防のための「知って得する口コモ体操」では、参加者の皆さんと一緒に実演したり、認知症を長年研究してこられた森山正史先生から「認知症を知って予防に取り組もう」のご講演では診断基準や予防のポイントをご教示頂きました。また、森山先生からは「老健施設の職員が寄り添う介護を行うためには、認知症だけでは無く何かしら疾患をお持ちの利用者様一人ひとりを、全人格的に認め、心について考え抜くことが大事です」とお話下さいました。

医療法人マックスールはこれからも、地域の介護力活性化に貢献できるよう努めてまいります。

